

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	仲	經理 責任者	中 神
旅行期間	30年 7月18日 30年 7月19日	1泊 2日	視察代表	中 神
旅行先	国土交通省、農林水産省ほか（視察・要望） (〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3)			
宿泊地	ダイヤモンドホテル (〒102-0083 東京都千代田区麹町1-10-3)			
視察・研修等目的	国への要望活動及び東京オリンピック・パラリンピック施設等の視察			
行程	三河田原駅 ⇄ 東京駅 7月18日 東京駅 → 要望活動（国土交通省 → 農林水産省 → 自由民主党本部等）→ ホテル 7月19日 ホテル → 視察（東京オリンピック・パラリンピック施設等）→ 東京駅			

経路 三河田原 ⇄ 豊橋 (渥美線往復) 豊橋 ⇄ 東京 (新幹線往復) 日当	旅 費						
	鉄道賃		1	8	9	2	0
	車 賃						
	航空賃						
	日 当			4	0	0	0
	宿泊料		1	2	0	0	0
	研修費						
	合 計		3	4	9	2	0

※東京到着後の移動は貸切バスを使用

※太枠内へ所要事項を記入すること。

経路及び旅費については、事務局にて記入。

国への要望活動及び東京オリンピック・パラリンピック施設等の視察

中神靖典

平成30年7月18日に財務省、国土交通省、農林水産省、自民党本部に要望活動。

要望事項 ① 浜松三ヶ日・豊橋道路の早期実現

② 名豊道路の建設推進

③ 設楽ダム建設事業の促進

④ 三河港の物流機能及び防災・減災機能の強化

⑤ 豊川用水二期工事の推進

⑥ 豊橋駅停車の新幹線「ひかり」増発

⑦ 豊川・柳生川の治水対策推進

毛利国土交通事務次官及び各局長、野中農林水産大臣政務官、萩生田自由民主党幹事長代行、今枝財務大臣政務官などと面会及び要望活動を行う。

7月19日は東京オリンピック・パラリンピックの建設中の施設等の視察を行う。水泳競技が実施されるオリンピックアクアティクスセンターは東京辰巳国際水泳場近くの辰巳の森海浜公園内に建設されている。地上で作った屋根を引き上げるリフトアップ工法が使われており、座席数は15000席が確保される。五輪後は様々な大会の開催を目指し、年間来場者目標を100万人とし、辰巳の森海浜公園と一体となったにぎわいを創出し、都民の憩いの場とする予定である。カヌー・スラロームセンターは葛西臨海公園に隣接し、水路に人工的に流れを作り出した全長約200m×平均幅約10m、高低差4、5mの競技コースと約180mのウォーミングアップコースからなっている。海の森水上競技場はボート、カヌー競技が行われ、競技コースは長さ2000m幅200mの8コースとなっている。また座席数は24000席を確保している。有明アリーナは15000席のメインアリーナと観客席のないサブアリーナからなり、バレーボール会場として整備されている。新豊洲BrilliaランニングスタジアムはETFEフィルム膜構造を主要構造材として大規模に使用した建造物であり、フレームにはカラマツの集成材を使用しアーチ状に組み合わせて連続させることにより、トンネル状の長さ108m、高さ8、5m、幅約16mの施設となっている。ETFEは透明で薄くて軽く耐候性にも優れた素材で、開放空間をアスリートに提供している。

2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて、施設の準備が着々と進んでいる。オリンピックの光の部分に目が行っているが、過去のオリンピック開催都市の施設の管理運営状況を見たときに、施設の廃墟化も進んでいる現実もある。東京の財政状況を考えると、このようになるとは思わないが、多額の資金投入、事業費の増大、五輪後の施設維持管理費の負担等を考えれば、希望的観測の対応等は考えられているが、難しい問題も多く含んでいると思う。

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者		經理 責任者						
旅行期間	30年 7月18日 30年 7月19日	1泊 2日	視察代表						
旅行先	国土交通省、農林水産省ほか（視察・要望） (〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3)								
宿泊地	ダイヤモンドホテル (〒102-0083 東京都千代田区麹町1-10-3)								
視察・研修等目的	国への要望活動及び東京オリンピック・パラリンピック施設等の視察								
行程	三河田原駅 ⇄ 東京駅 7月18日 東京駅 → 要望活動（国土交通省 → 農林水産省 → 自由民主党本部等）→ ホテル 7月19日 ホテル → 視察（東京オリンピック・パラリンピック施設等）→ 東京駅								
経路	旅 費								
三河田原 ⇄ 豊橋 (渥美線往復)	1,040円 (520円×2)	鉄道賃	1	8	9	2	0		
豊橋 ⇄ 東京 (新幹線往復)	17,880円 (8,940円×2)	車賃							
日当	2,000円×2日	航空賃							
※東京到着後の移動は貸切バスを使用					日 当	4	0	0	0
					宿泊料	1	2	0	0
					研修費				
					合 計	3	4	9	2
									0

※太枠内へ所要事項を記入すること。

経路及び旅費については、事務局にて記入。

視察、研修報告書

田原市議会議長 殿

岡本 穎稔

日時 平成 30 年 7 月 18 日～19 日

平成 30 年 7 月 18 日

国土交通省

毛利伸二 國土交通事務次官に要望書の提出

内容

浜松三ヶ日、豊橋道路の建設実現

名豊道路の建設促進

設楽ダム建設事業の促進

三河港の港湾整備

新幹線「ひかり」の豊橋停車の増便

豊川、柳生川の治水対策

農林水産省

野中 厚 農林水産大臣政務官に要望書の提出

内容

豊川二期工事の推進

自由民主党本部

萩生田 光一 自由民主党幹事長代行に要望書の提出

内容

浜松三ヶ日、豊橋道路の建設実現

名豊道路の建設促進

設楽ダム建設事業の促進

三河港の港湾整備

新幹線「ひかり」の豊橋停車の増便

豊川、柳生川の治水対策

豊川二期工事の推進

国土交通省

藤井 直樹 鉄道局長に要望書の提出

内容

新幹線「ひかり」の豊橋停車の増便

財務省

今枝 宗一郎 財務大臣政務官に要望書の提出

内容

浜松三ヶ日、豊橋道路の建設実現

名豊道路の建設促進

設楽ダム建設事業の促進

三河港の港湾整備

新幹線「ひかり」の豊橋停車の増便

豊川、柳生川の治水対策

豊川二期工事の推進

平成 30 年 7 月 19 日

オリンピック・パラリンピック競技場建設現場視察

オリンピックアクアティクスセンター

会場 辰巳森林公園内

最寄り駅 京葉線新木場駅、塩見駅

地下鉄有楽町線辰巳駅

総工費 約 567 億円

座席数 15000 席

競技 水泳（競泳、飛び込み、アーティスティックスイミング）

屋根の大きさが 130m × 160m、地上で組み立て、吊り上げ工法

カヌー・スラローム会場

会場 葛西臨海公園

最寄り駅 京葉線葛西臨海公園駅

総工費 73 億円

座席数 15000 席

人工の渓流でのカヌー競技場

競技コースは 200m × 10m

参考様式第4号

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	仲谷 政弘	經理 責任者	中神 道典
旅行期間	30年 7月18日 30年 7月19日	宿泊 2日	視察代表	大竹
旅行先	国土交通省、農林水産省ほか（視察・要望） (〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3)			
宿泊地	ダイヤモンドホテル (〒102-0083 東京都千代田区麹町1-10-3)			
視察・研修 等目的	国への要望活動及び東京オリンピック・パラリンピック施設等の視察			
行程	三河田原駅 ⇄ 東京駅 7月18日 東京駅 → 要望活動（国土交通省 → 農林水産省 → 自由民主党本部等） → ホテル 7月19日 ホテル → 視察（東京オリンピック・パラリンピック施設等） → 東京駅			

経路	旅費						
	鉄道賃		1	8	9	2	0
	車賃						
	航空賃						
	日当			4	0	0	0
	宿泊料		1	2	0	0	0
	研修費						
	合計		3	4	9	2	0
三河田原 ⇄ 豊橋 (渥美線往復)	1,040 円 (520 円 × 2)						
豊橋 ⇄ 東京 (新幹線往復)	17,880 円 (8,940 円 × 2)						
日当	2,000 円 × 2 日						
※東京到着後の移動は貸切バスを使用							

※太枠内へ所要事項を記入すること。

経路及び旅費については、事務局にて記入。

視察・研修等報告書

30年 7月30日

田原市議会議長 殿

会派名 自民クラブ
議員名 大竹 正章

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	仲谷 政弘	經理 責任者	中神靖典
期 間	平成30年7月18日(水)～平成30年7月19日(木)			
視察・研修等先	国土交通省、農林水産省、財務省(視察・要望) 東京オリンピック・パラリンピック関連施設の視察			
視察・研修等の目的	国への要望活動及び東京オリンピック・パラリンピック関連施設の視察			
視察先等 面会者	国土交通省大臣政務官他 農林水産省副大臣他 財務省大臣政務官他			
概要及び所見	陳情では国土交通省、農林水産省、財務省にて継続する地域課題を説明。今回も合理性・有効性は絵図と数字で示されていない。官僚でも政治家でも目を引く、印象に焼き付く事が大切では。視察においては、水泳のメイン会場「アクアティクスセンター」から、約560億の都費を投じる、巨大な水泳アリーナ、屋根面積4ha、6千トンを超えるが地上部で施工して、4本の柱で地上35mまでリフトアップするという、コストは優位ではなさそうだが、工期は短縮されるという。次のカヌー・スラロームセンターでは、国内初の人工流水のスラロームコースとなる、客席は全て仮設の1万5千席、競技人口が少ないため、後利用は多用途に活用する方針、今回の西日本豪雨被災地の水道ろ過に急遽、この会場に設置予定であった、ろ過施設が搬送され、復旧の目途が立たなかつた大型ろ過施設の復旧が可能となった模様、毎秒12tの水循環を支える設備なので、最適な被災地支援となると思われる。続いて車窓から東京湾内の運河を締切りポート・スプ			

リントカヌーに使用する「海の森水上競技場」を見た、2kmの競技エリアとなる運河を延長200mの締切堤2つで囲い水門施設、揚排水施設と2万4千席の客席を設置する。工事エリアにて巨大な鉄橋が陸で制作していたが、恐らく後程サルベージ船で吊り上げて設置するのだろうと思う。水路幅が200mなのに、吊り下せる物なのか?と思ってしまう。

「有明アリーナ」も車窓見学の予定ではあったが、良く見えなかつた。その後「新豊洲Brilliaランニングスタジアム」へ移動した、館長である為末大氏は『テクノロジーとコミュニティの力で、誰もが分け隔てなく自分を表現する事を楽しんでいる風景を作る』とメインコンセプトを紹介してありました。施設自体は、60mのメイントラックに全天候屋根が付属しており、義足開発ラボ、シャワー・ロッカールームが併設されています。健常者の義足体験、トレーニングアカデミー、かけっこスクールなど体験型事業と、施設利用が主です。施設の作りや、運営コンセプトに相当な拘りを感じる都心でしかその機能が發揮できないレアな施設を視察しました。以上が視察の全体ですが、都のオリンピック関連施設整備のポイントとして「アクセシビリティ・ガイドライン」に注目しました。①は車いすトイレの機能分散として一般トイレと共にトイレそれぞれに機能別対応可能なトイレを表示しそれぞれの機能を選択して利用して頂くというもの。②として車いす席・同伴者席、付加アメニティ席の考え方を従来の固定席から、より自由度の高いバリアフリーアクセスとサイトラインを工夫するというものです。絶対的な少数者にここまで配慮するものなのか?とは言えない時代の一つの答えになるかはオリンピック開催まで答は出ませんが、時代の要求はここまで来ているのか。と公共に携わる人間には問われる問題です。③としてアクセシビリティとは違いますが、環境への配慮という面で、太陽熱収集パネル、太陽光発電、地中熱利用、コージェネレーションの組み合わせにより従来型システムからCO₂排出量の3割削減をする予定との事。又、それぞれの主要競技会場は東西約40km南北約20km程度に多くが収まっており、コンパクト五輪による移動負荷の低減は確実と思われます。その分、人の集中は熾烈を極めると思いますが、度々あるイベントではないので止むを得ないのでしょう。

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	仲谷	經理 責任者	中神
旅行期間	30年 7月18日 30年 7月19日	1泊 2日	視察代表	長神
旅行先	国土交通省、農林水産省ほか（視察・要望） (〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3)			
宿泊地	ダイヤモンドホテル (〒102-0083 東京都千代田区麹町1-10-3)			
視察・研修等目的	国への要望活動及び東京オリンピック・パラリンピック施設等の視察			
行程	三河田原駅 ⇄ 東京駅 7月18日 東京駅 → 要望活動（国土交通省 → 農林水産省 → 自由民主党本部等） → ホテル 7月19日 ホテル → 視察（東京オリンピック・パラリンピック施設等） → 東京駅			

経路 三河田原 ⇄ 豊橋 (渥美線往復) 豊橋 ⇄ 東京 (新幹線往復) 日当	旅費						
	鉄道賃		1	8	9	2	0
	1,040円 (520円×2)						
	車賃						
	航空賃						
	日当			4	0	0	0
	宿泊料		1	2	0	0	0
	研修費						
	合計		3	4	9	2	0

※東京到着後の移動は貸切バスを使用

※太枠内へ所要事項を記入すること。

経路及び旅費については、事務局にて記入。

陳情・視察等報告書

30年7月20日

田原市議会議長 殿

会派名自民クラブ
議員名 長神 隆士

下記のとおり、陳情、視察等が終了したので報告します。

会派 代表者	仲谷弘	經理 責任者	長神 隆士
期 間	平成30年7月18日(水)～平成30年7月19日(木)		
陳情視察等先	東京都 各省庁陳情及び、オリパラ関連施設視察		
陳情・視察・等の目的	東三河広域に対しての要望を陳情して早期実現のお願いとオリパラ関連施設視察を通じ推進状況を把握する事		
視察先等 面会者	国土交通大臣野中厚政務官、財務大臣今枝宗一郎政務官他		
概要及び所見	<p>・東三河広域に渡る課題と要望を、陳情するため自民クラブと豊橋の自由民主党系市議団と合同で陳情活動を実施した。</p> <p>国土交通省、鉄道局を始め農林水産省、自民党本部、財務省等を回り国、県、市が繋がっていることが凄く大事であると感じました。今は連携されている。</p> <p>・二日目のオリパラ関連施設視察では、オリンピックアクアティクスセンターを始めカヌー・スラローム会場、新豊洲Brilliaランニングスタジアムの視察を行った。新しい場所に新たに建設をする。交通アクセス、収容人数、終わった後の利活用等、相応しい場所であった。工事が順調進むことを祈りつつ、オリパラの成功を願う。</p>		

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請：陳情活動	会派 代表者		経理 責任者	
旅行期間	30年 7月18日 30年 7月19日	1泊 2日	視察代表	
旅行先	国土交通省、農林水産省ほか（視察・要望） (〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3)			
宿泊地	ダイヤモンドホテル (〒102-0083 東京都千代田区麹町1-10-3)			
視察・研修等目的	国への要望活動及び東京オリンピック・パラリンピック施設等の視察			
行程	三河田原駅 ⇄ 東京駅 7月18日 東京駅 → 要望活動（国土交通省 → 農林水産省 → 自由民主党本部等）→ ホテル 7月19日 ホテル → 視察（東京オリンピック・パラリンピック施設等）→ 東京駅			

経路	旅 費						
	鉄道賃	1	8	9	2	0	
	車賃						
	航空賃						
	日当			4	0	0	0
	宿泊料	1	2	0	0	0	
	研修費						
	合計	3	4	9	2	0	
三河田原 ⇄ 豊橋 (渥美線往復)	1,040円 (520円×2)						
豊橋 ⇄ 東京 (新幹線往復)	17,880円 (8,940円×2)						
日当	2,000円×2日						
※東京到着後の移動は貸切バスを使用							

※太枠内へ所要事項を記入すること。

経路及び旅費については、事務局にて記入。

田原市議会議長

仲谷 政弘

国への要望活動及び

東京オリンピック・パラリンピック施設等の視察研修

日 時： 平成 30 年 7 月 18 日（水）・19 日（木）

場 所： 財務省、国土交通省、農林水産省、自民党本部
オリンピック・パラリンピック関連施設視察

18 日（午前）

国土交通省

- 1、浜松三ヶ日・豊橋道路の早期実現
- 2、名豊道路の建設促進
- 3、設楽ダム建設事業の促進
- 4、三河港の物流機能および防災・減災機能の強化
- 5、豊橋駅停車の新幹線「ひかり」増発
- 6、豊川・柳生川の治水対策推進

国土交通事務次官 毛利 信二 「面会」

農林水産省

大臣政務官 野中 厚

- 1、豊川用水二期工事の推進
- 2、その他・産地パワーアップ事業において、田原は全国でもトップクラスの技術により、生産性も高く高収入を上げている現状で、さらに上げるのは難しい現状があるのでポイント制の事業認可制約の緩和について要望した。
 - ・中間管理機構による農地の構造改善が行なわれることになり、地元の農家の方が感謝を頂いていると報告をした。
 - ・後継者不足と嫁不足について現状報告

（午後）

自由民主党本部

自由民主党 幹事長代行 萩生田 光一

1、国土交通省、農林水産省の要望と同様

萩生田さんから、陳情は多くの人と足を多く運び、また、担当部局との勉強会をする事も大切とアドバイスを頂きました。

国土交通省（各局長室へ要望）

鉄道局長 藤井 直樹

1、豊橋駅停車の新幹線「ひかり」増発

「のぞみ」が約10分に1本走っている中でダイヤのやりくりが難しい現状があるとのこと

財務省

財務大臣政務官 今枝 宗一郎

1、浜松三ヶ日・豊橋道路の早期実現

2、名豊道路の建設推進

3、設楽ダム建設事業の促進

4、三河港の物流機能及び防災・減災機能の強化

5、豊川用水二期工事の推進

6、豊橋駅停車の新幹線「ひかり」増発

7、豊川・柳生川の治水対策推進

19日（木）

オリンピック・パラリンピック関連施設視察

*オリンピックアクアティクスセンター

担当者 オリンピック・パラリンピック準備局大会施設部施設整備担当課長

刀祢 大州

会場は、辰巳の森海浜公園内にあり、実施競技は「水泳」（競泳、飛び込み、アーティスティクスイミング）行なわれる。総工費約567億円で地上4階地下1階の座席数が約15,000席の施設です。屋根（130m×160m）を地上で組み立て、吊り上げ工法により工事が進められています。（上で組み立てるより短期間で出来るとの事）また、後利用として、年100回の「国際・国内」の大会を開催し、都民のために水泳場としてスポーツや健康増進に取り組み、年間来場者を100万人とし、うち競技利用者として85万人「観戦者」を含め見込んでいる。近くに東京辰巳国際水泳場がありますが「水球」の競技に使われオリンピック終了

後にはスケートリンクになる可能性があるそうです。アクセスは、京葉線の「新木場、潮見駅」地下鉄の有楽町線「辰巳駅」があり便利だと思います。

*カヌー・スラローム会場

担当者 オリンピック・パラリンピック準備局大会施設部施設整備担当課長

村岡 洋次郎

会場は、年間 300 万人の来場者のある葛西臨海公園に隣接したところで開催されます。建て屋はありませんが総工費 73 億円で、競技コース (200m×10m) の人口の溪流とウォーミングアップコース施設を設け、座席数 15,000 席の施設です。施設の後利用として、国内初の人工施設として、アスリートの強化、様々な水上スポーツ、水上レジャーの機会を提供（カヌーの国際大会、国内大会を誘致、「年 7 回目標」水上スポーツ体験やラフティング等のレジャーの提供）し、年間来場者 10 万人、内競技利用者 3 万人を目標に進めている。ランニングコストとして年 3 億円を見込んでいる。アクセスは京葉線の「葛西臨海公園駅」と他の施設と比べると駐車場も多くある。

*海の森水上競技場（車窓から）

ボート・カヌー（スプリット）の競技場で総工費 308 億円、長さ 2,000m 幅 200m と大きな施設で、観客席 24,000 席（仮設が 20,000 席以上）で締切堤、水門施設、揚排水施設、グランドスタンド棟、艇庫棟、等に多くの費用が掛かる競技場となっています。競技場の後利用として、国際大会・国内大会を年 30 回を行なう目標で年間来場者を 35 万人で、内 31 万人が競技利用者で残り 4 万人が一般利用者を想定している。

*有明アリーナ（車窓から）

バレーボールの競技会場で総工費 357 億円で地上 5 階、座席数 15,000 席で、施設の後利用で 年 10 回程度の国内外の大会とコンサートや文化広場などに利用、年間来場者目標 140 万人を見込んでいる。アクセスは、ゆりかもめの新豊洲駅が近い、りんかい線の国際展示場駅もある。

*新豊洲 Brillia ランニングスタジアム

全天候型施設内トラックは、国際競技にも採用されている「スーパー X 」が、長さ「60 m」6 レーン分採用され、株式会社「侍」TRAC 代表 為末 大の指導による、かけっここの基礎動作を習得する練習や運動感覚を養う施設です。有料ですが 1 日約 100 人程度の利用者ある。また競技用義足体験と義足アスリートがより速く走るためのトレーニング、品質の高い義足の開発を行い、障害者の関心を喚起すると共に、パラスポーツの競技人口を増加させること目的としている施設です。建設費は約 6 億円

以上

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者		經理 責任者	神
旅行期間	30年 7月18日 30年 7月19日	1泊 2日	視察代表	吉
旅行先	国土交通省、農林水産省ほか（視察・要望） (〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3)			
宿泊地	ダイヤモンドホテル (〒102-0083 東京都千代田区麹町1-10-3)			
視察・研修等目的	国への要望活動及び東京オリンピック・パラリンピック施設等の視察			
行程	三河田原駅 ⇄ 東京駅 7月18日 東京駅 → 要望活動（国土交通省 → 農林水産省 → 自由民主党本部等） → ホテル 7月19日 ホテル → 視察（東京オリンピック・パラリンピック施設等） → 東京駅			

経路	旅費						
	鉄道賃	1	8	9	2	0	
	車賃						
	航空賃						
	日当			4	0	0	0
	宿泊料		1	2	0	0	0
	研修費						
	合計		3	4	9	2	0
三河田原 ⇄ 豊橋 (渥美線往復)	1,040円 (520円×2)						
豊橋 ⇄ 東京 (新幹線往復)	17,880円 (8,940円×2)						
日当	2,000円×2日						
※東京到着後の移動は貸切バスを使用							

※太枠内へ所要事項を記入すること。

経路及び旅費については、事務局にて記入。

視察

氏名 小川貴夫

日 時	平成30年7月18日、19日
視 察 先	国土交通省・農林水産省等
視察目的	自由民主党愛知第十五区支部にて豊橋・田原の地域要望に対し 早期事業着工を目指して、国に対して要望活動を行う。

1 参考になった点

- ・浜松三ヶ日・豊橋道路の早期実現
- ・明豊道路の建設推進
- ・設楽ダム建設事業の促進
- ・三河港の物流機能および防災・減災機能の強化
- ・豊川用水二期工事の推進
- ・豊橋駅停車の新幹線「ひかり」増発
- ・豊川・柳生川の治水対策推進

2 所感

毎年、恒例で行っている要望活動である。豊橋・田原の地域課題に対して国にしっかりと予算措置をしてもらう事は重要な事である。特に日本一産出額を誇る本市の農業とては「設楽ダム建設・豊川用水二期工事」の早期実現は悲願である。又、輸出自動車については25年連続、金額・台数共に日本一を記録している工業は、言うまでもなく「三河港の整備」は最重要施策である。この素晴らしい実績を、更に推進する為には道路問題がどうしても出てきてしまう。全国各地により早く産物を輸送するためにも、豊橋・田原市の「道路建設」は最も重要であるし、その為には国・県・市のパイプを更に太くしていかなければならぬ。

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者		經理 責任者	
旅行期間	30年 7月18日 30年 7月19日	1泊 2日	視察代表	
旅行先	国土交通省、農林水産省ほか（視察・要望） (〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3)			
宿泊地	ダイヤモンドホテル (〒102-0083 東京都千代田区麹町1-10-3)			
視察・研修等目的	国への要望活動及び東京オリンピック・パラリンピック施設等の視察			
行程	三河田原駅 ⇄ 東京駅 7月18日 東京駅 → 要望活動（国土交通省 → 農林水産省 → 自由民主党本部等）→ ホテル 7月19日 ホテル → 視察（東京オリンピック・パラリンピック施設等）→ 東京駅			

経路 三河田原 ⇄ 豊橋 (渥美線往復) 豊橋 ⇄ 東京 (新幹線往復) 日当	旅 費						
	鉄道賃		1	8	9	2	0
	車賃						
	航空賃						
	日当			4	0	0	0
	宿泊料		1	2	0	0	0
	研修費						
	合計		3	4	9	2	0

※東京到着後の移動は貸切バスを使用

※太枠内へ所要事項を記入すること。

経路及び旅費については、事務局にて記入。

森下

参考様式5号

視察・研修等報告書

平成30年12月14日

田原市議会議長 殿

会派名 自民クラブ
議員名 森下 田嘉治

下記のとおり、視察・研修等が終了しましたので報告します。

	会派 代表者	仲谷 政弘	経理 責任者	中神 靖典
期 間	平成30年7月18日(水)～7月19日(木)			
視察・研修等先	国土交通省 農林水産省 自由民主党本部等(要望) 東京オリンピック・パラリンピック施設(視察)			
視察・研修等の目的	国への要望活動及び東京オリンピック・パラリンピック施設(視察)			
視察先等 面会者	面会者は、概要及び所見に記述			
概要及び所見	第1日目 7月18日(水) 国への要望 • 國土交通省 毛利 信二國土交通事務次官 浜松三ヶ日・豊橋道路の早期実現、名豊道路の建設推進、設楽ダム建設事業の促進、三河港の物流機能及び防災・減災機能の強化、豊橋駅停車の新幹線「ひかり」の増発、豊川・柳生川の治水対策推進要望書提出 • 農林水産省 野中 厚農林水産大臣政務官 豊川用水二期工事の推進、その他の要望書を提出した。 • 自由民主党本部 萩生田 光一自由民主党幹事長代行 國土交通省、農林水産省と同様の要望書を提出した。 • 國土交通省 藤井 直樹鉄道局長 豊橋駅停車の新幹線「ひかり」の増発の要望を行った。 • 財務省			

今枝 宗一郎総務大臣政務官

浜松三ヶ日・豊橋道路の早期実現、名豊道路の建設推進、設楽ダム建設事業の促進、三河湾の物流機能及び防災・減災機能の強化、豊川用水二期工事の推進、豊橋駅停車の新幹線「ひかり」増発、豊川・柳生川の治水対策推進の要望をした。

以上要望活動を行ったが、感触はいい方向に向かっているように思えた。

第2日目 7月19日（木）視察

オリンピック・パラリンピック関連施設視察

- ・オリンピックアカデミクスセンター
- ・カヌー・スラローム会場
- ・海の森水上競技場
- ・新豊洲 Brillia ランニングスタジアム

オリンピック・パラリンピック関連施設の建設現場の視察を行ったが、いずれも競技終了後のことと考えられていた。特に、パラスポーツ施設は、競技人口を増やそうとしたすばらしい施設であった。

競技用義足体験と品質の良い義足の開発を行う施設も併設されており障害のあるアスリートには、とても良い施設だと思った。

参考様式第4号

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者 仲谷政弘	経理 責任者 中村義典	
旅行期間 30年 7月18日 30年 7月19日	1泊 2日	視察代表	渡会
旅行先 国土交通省、農林水産省ほか（視察・要望） (〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3)			
宿泊地 ダイヤモンドホテル (〒102-0083 東京都千代田区麹町1-10-3)			
視察・研修等目的 国への要望活動及び東京オリンピック・パラリンピック施設等の視察			
行程 三河田原駅 ⇄ 東京駅 7月18日 東京駅 → 要望活動（国土交通省 → 農林水産省 → 自由民主党本部等） → ホテル 7月19日 ホテル → 視察（東京オリンピック・パラリンピック施設等） → 東京駅			

経路 三河田原 ⇄ 豊橋 (渥美線往復) 豊橋 ⇄ 東京 (新幹線往復) 日当	旅費						
	鉄道賃	1	8	9	2	0	
	車賃						
	航空賃						
	日当			4	0	0	0
	宿泊料	1	2	0	0	0	
	研修費						
	合計	3	4	9	2	0	

※東京到着後の移動は貸切バスを使用

※太枠内へ所要事項を記入すること。

経路及び旅費については、事務局にて記入。

視察・研修等報告書

平成30年 8月 3日

田原市議会議長 殿

会派名 自民クラブ
議員名 渡会 清継

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

会派 代表者	仲谷 政弘	經理 責任者	中神 靖典
期 間	平成30年 7月18日(水)～平成30年 7月19日(木)		
視察・研修等先	国土交通省・農林水産省・財務省・自由民主党本部への要望活動、東京オリンピック・パラリンピック施設の視察		
視察・研修等の目的	要望活動 東京オリンピック・パラリンピック施設の現況視察		
視察先等 面会者	国土交通省大臣政務官、農林水産省副大臣、財務省大臣政務官ほか		
概要及び所見	<p>国への要望活動として、国土交通省、農林水産省、財務省を訪問したほか、自由民出党本部を訪問して要望活動を行った。</p> <p>これらの要望活動は、一度だけの実施で終わるのではなく、定期的に実施することによって「地域の思い」や「熱意」が伝わるものであることから、今後も継続して実施していく必要があると考える。</p> <p>東京オリンピック・パラリンピック関連施設の視察においては、水泳競技会場やカヌーの競技会場などを視察したほか、新豊洲 Brillia ランニングスタジアムを見学した。</p> <p>東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催までは約2年となっている。この大会期間中は、世界中から多くの方が日本に来訪することとなり、日本の魅力をPRする絶好の機会となる。本市もホスト・タウンに手を挙げる予定であり、この大会を通じて本市のシティーセールスの推進を図っていかなければならないと思う。</p>		

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	仲 合	經理 責任者	中 神
旅行期間	30年 7月18日 30年 7月19日	1泊 2日	視察代表	景 木
旅行先	国土交通省、農林水産省ほか（視察・要望） (〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3)			
宿泊地	ダイヤモンドホテル (〒102-0083 東京都千代田区麹町1-10-3)			
視察・研修等目的	国への要望活動及び東京オリンピック・パラリンピック施設等の視察			
行程	三河田原駅 ⇄ 東京駅 7月18日 東京駅 → 要望活動（国土交通省 → 農林水産省 → 自由民主党本部等） → ホテル 7月19日 ホテル → 視察（東京オリンピック・パラリンピック施設等） → 東京駅			

経路	旅費						
	鉄道賃	1	8	9	2	0	
	車賃						
	航空賃						
	日当			4	0	0	0
	宿泊料		1	2	0	0	0
	研修費						
	合計		3	4	9	2	0
三河田原 ⇄ 豊橋 (渥美線往復)	1,040 円 (520 円 × 2)						
豊橋 ⇄ 東京 (新幹線往復)	17,880 円 (8,940 円 × 2)						
日当	2,000 円 × 2 日						
※東京到着後の移動は貸切バスを使用							

※太枠内へ所要事項を記入すること。

経路及び旅費については、事務局にて記入。

視察・研修等報告書

平成 30年 8月 5日

田原市議会議長 殿

会派名 自民クラブ
議員名 荒木 茂

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

会派 代表者	会派 代表者	経理 責任者	会派 代表者
期 間	平成 30年 7月 18日（水）～平成 7月 19日（木）		
視察・研修等先	国土交通省、農林水産省、財務省（視察・要望） 東京オリンピック・パラリンピック関連施設の視察		
視察・研修等の目的	国への要望活動及び東京オリンピック・パラリンピック関連施設の視察		
視察先等 面会者	国土交通省大臣政務次官他 農林水産省副大臣他		
概要及び所見	<p>《所感》</p> <p>国土交通省、農林水産省、財務省に陳情に行く。</p> <p>今回の視察は、東京オリンピック・パラリンピック関連の施設を見学した。まず初めに水泳のメイン会場「アクアティクスセンター」を見学。屋根面積4ha 6千トンを超えるものを地上で組み立て、地上35mまで持ち上げるという。工期が早く、費用も安く出来る工法だそうだ。建設費は約600億、オリンピックには是非訪れて見たい競技と施設である。</p> <p>次にカヌー・スラロームセンターを見学。国内初となる人口流水のスラロームコースとなる。競技人口が少ない為、後利用が心配になる。</p> <p>最後に「新豊洲 Brillia ランニングスタジアム」を見学。施設は60mトラックに全天候屋根があり義足開発ラボ・シャワー・ロッカールームが併設されていた。最近TVを見ているとよくこの施設が放映されている。今回の視察では、主要な競技会場が東西約40km南北約20km程度に収まるコンパクト五輪を目指すだけあり、車窓からはあちらこちらでク</p>		

レーンが立ち並び、急ピッチに2020年東京オリンピック開催に向け建設が行なわれていた。

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者		經理 責任者	
旅行期間	30年 7月18日 30年 7月19日	1泊 2日	視察代表	
旅行先	国土交通省、農林水産省ほか（視察・要望） (〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3)			
宿泊地	ダイヤモンドホテル (〒102-0083 東京都千代田区麹町1-10-3)			
視察・研修等目的	国への要望活動及び東京オリンピック・パラリンピック施設等の視察			
行程	三河田原駅 ⇄ 東京駅 7月18日 東京駅 → 要望活動（国土交通省 → 農林水産省 → 自由民主党本部等）→ ホテル 7月19日 ホテル → 視察（東京オリンピック・パラリンピック施設等）→ 東京駅			

経路	旅費						
	鉄道賃		1	8	9	2	0
	三河田原 ⇄ 豊橋 (渥美線往復)	1,040円 (520円×2)					
	豊橋 ⇄ 東京 (新幹線往復)	17,880円 (8,940円×2)					
	日当	2,000円×2日					
	※東京到着後の移動は貸切バスを使用						
	車賃						
	航空賃						

※太枠内へ所要事項を記入すること。

経路及び旅費については、事務局にて記入。

視察・研修等報告書

平成30年7月26日

田原市議会議長 殿

会派名 自民クラブ
議員名 古川 美栄

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

会派 代表者	経理 責任者
自民クラブ 竹内政弘	中神靖典
期 間	平成30年7月18日（水）～平成30年7月19日（木）
視察・研修等先	国土交通省、農林水産省、財務省ほか（視察・要望）
視察・研修等の目的	国への要望活動及び東京オリンピック・パラリンピック施設等の視察
視察先等 面会者	国土交通省 農林水産省 財務省 準備局大会施設部施設整備担当課長 刀狩大州・村岡洋次郎
概要及び所見	<p>平成30年7月18日</p> <p>要望活動</p> <ul style="list-style-type: none">・浜松三ヶ日・豊橋道路の早期実現・名豊道路の建設推進・設楽ダム建設事業の促進・三河港の物流機能及び防災・減災機能の強化・豊川用水二期事業の推進・豊橋駅停車の新幹線「ひかり」増発 <p>平成30年7月19日</p> <p>東京オリンピック・パラリンピック施設等視察</p> <ul style="list-style-type: none">・オリンピックアクアティクスセンター・カヌー・スラローム会場・海の森水上競技場・有明アリーナ

参考様式第4号

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者		經理 責任者	
旅行期間	30年 7月18日 30年 7月19日	1泊 2日	視察代表	
旅行先	国土交通省、農林水産省ほか（視察・要望） (〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3)			
宿泊地	ダイヤモンドホテル (〒102-0083 東京都千代田区麹町1-10-3)			
視察・研修 等 目 的	国への要望活動及び東京オリンピック・パラリンピック施設等の視察			
行 程	三河田原駅 ⇄ 東京駅 7月18日 東京駅 → 要望活動（国土交通省 → 農林水産省 → 自由民主党本部等）→ ホテル 7月19日 ホテル → 視察（東京オリンピック・パラリンピック施設等）→ 東京駅			

経路 三河田原 ⇄ 豊橋 (渥美線往復) 豊橋 ⇄ 東京 (新幹線往復) 日当	旅 費						
	鉄道賃		1	8	9	2	0
	1,040円 (520円×2)						
	車 賃						
	航空賃						
	日 当			4	0	0	0
	宿泊料		1	2	0	0	0
	研修費						
	合 計		3	4	9	2	0

※東京到着後の移動は貸切バスを使用

※太枠内へ所要事項を記入すること。

経路及び旅費については、事務局にて記入。

視察・研修等報告書

平成30年7月22日

田原市議会議長 殿

会派名 自民クラブ

議員名 太田由紀夫

会派 代表者	仲谷政弘	經理 責任者	中神靖典
-----------	------	-----------	------

期間	平成30年7月18日(水) 19日(木)
視察・研修等先	国土交通省、農林水産省、財務省、自民党本部、オリンピック・パラリンピック施設等
視察・研修等の目的	国土交通省、農林水産省、財務省、自民党本部（要望活動） オリンピック・パラリンピック施設等（視察研修）
視察先等 面会者	国土交通省事務次官・毛利信二氏。農林水産省大臣政務官・野中厚氏。財務省財務大臣政務官・今枝宗一郎氏。自由民主党幹事長代行・萩生田光一氏。国土交通省鉄道局長・藤井直樹氏他。
	<p>平成30年7月18日(水)</p> <p>●陳情活動</p> <ul style="list-style-type: none">・『浜松三ヶ日・豊橋道路の早期実現』に関する要望書1. 浜松三ヶ日・豊橋道路は、東名・新東名高速道路、三遠南信自動車道、名豊道路と一体となり、広域幹線ネットワークを形成する非常に重要な路線です。この路線の整備により、物流機能が向上し地域産業の活性化が図られ、国際競争力の強化につながるものであるとともに、地域防災力を高め大規模災害等への備えとなり、強靭な国づくりに資するものであります。そのため早急に調査を進め、浜松三ヶ日・豊橋道路の早期実現を図ること。2. 物流における平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保するため、浜松三ヶ日・豊橋道路が重要物流道路に指定されるよう、調査事業の進捗を図ること。 <p>・『名豊道路の建設促進』に関する要望書</p> <ul style="list-style-type: none">1. 真に必要な道路整備・管理を長期安定的に推進するため、新たなる財源の創設を検討するとともに、平成31年度道路関係予算は所要額を確保し、地方の要請に応え緊急かつ計画的

- に事業を推進すること。また、定期点検結果を踏まえた老朽化対策予算については、別枠で確保すること。
2. 物流における平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保するため、名豊道路を重要物流道路に指定し、重点支援による事業の進捗と機能強化を図ること。
 3. 日本経済・地域経済の好循環を図り、国際競争力の強化を図り、産業、観光面等のストック効果を高めるため、名豊道路の早期全線4車線開通に向け建設推進を図ること。
 - (1) 未開通区間の早期完成を図ること。
 - (2) 交通混雑区間の4車線化を図ること。

・『設楽ダム建設事業の促進』に関する要望書

水没地権者、水源町、愛知県並びに下流域自治体の総意によるダム建設であることを賢察いただき、設楽ダムの早期完成と水源地域の一層の振興、並びに移転を余儀なくされた方々は元より、水源地域の方が安心して生活できるよう、引き続き生活再建対策の推進を図っていただきますよう要望します。

・『三河港整備促進』に関する要望書

1. 臨港道路東三河臨海線の整備促進

○御津地区をはじめとして企業立地の動きが活性化しており、今後増大が予想される港湾関係車両の円滑な交通を確保し、三河港周辺道路の混雑・渋滞の解消を図るため、田原ふ頭から御津ふ頭を結ぶ、埠頭関連道路の早期整備に向けた検討を要望します。

2. 田原地区岸壁（-10m）の整備促進

○効率的なバルク貨物輸送の実現を図るための、船舶の大型化への対応をはじめ、大規模災害の発生に備えた緊急物資の輸送拠点となる耐震強化岸壁の早期整備に向けた支援を要望します。

3. 港湾における情報化の促進

○生産性の向上等を図るため、港湾物流の効率化についてなるIoTやAI等情報通信技術の活用に向けた支援制度などの創設を要望します。

・『豊川用水二期工事の推進』に関する要望書

当地域における豊川用水の役割、施設の現状をご賢察いただき、将来にわたり、安定的に用水を供給できる施設が構築できますよ

う、豊川用水二期事業の平成31年度予算の確保並びに着実な事業の推進を要望します。

・『豊橋駅停車の新幹線「ひかり」増発』に関する要望書

当地域のターミナル駅である豊橋駅は、東三河地域における公共交通機関の重要な結節点であるとともに、中京圏へのアクセスの利便性によるビジネス需要の増加や、周遊観光ルートの整備によるインバウンド観光客の増加など、今後、新幹線の需要が大きく伸びることが予想され、全国で地方創生の深化が叫ばれる今、当地域においても、ひととしごとの好循環を作り出すためには、都市部からの人の流れが必要であり、その実現には、高速移動手段である東海道新幹線の利便性向上が極めて重要となります。

また、2027年にはリニア中央新幹線開業により、東海道新幹線が「ひかり」「こだま」を中心とした輸送形態に移行し、今後は、これまで以上に豊橋駅停車の新幹線「ひかり」増発、地域の広域的な交通アクセスが整備されることが期待されます。

こうした状況から、サービスや利便性の高い「ひかり」に対する利用ニーズが高まっており、地元経済界からの強い意向もあり、本地域の住民サービス及び経済活動の利便性向上、地域振興活性化のため、新幹線「ひかり」の豊橋駅停車本数を増加されるよう要望いたします。

・『豊川・柳生川の治水対策推進に関する要望書』

水害や土砂災害から国民の生命・財産を守り、安全で安心な社会生活を実現するため、直轄事業を着実に推進する事。特に豊川における霞堤の対策をあらゆる角度から検討し、強力に推進すること。

豊橋市街地の柳生川地下河川整備など大規模事業を計画的に実施するための補助事業など予算制度を拡充すること。併せて、住民の速やかな避難に結びつく対策などソフト施策についても支援すること。

以上の内容について、国土交通省事務次官毛利信二氏。農林水産省大臣政務官野中厚氏。財務省財務大臣政務官今枝宗一郎氏。自由民主党幹事長代行萩生田氏に要望書の提出を行った。また、各担当への要望書の提出を合わせて実施。

平成30年7月19日（木）

●オリンピック・パラリンピック関連施設視察

○オリンピックアクアティクスセンター

辰巳の森海浜公園内にあり、実施競技はオリンピックの水泳、競泳・飛び込み・アーティスティックスイミング。パラリンピックの水泳が行われる。

オリンピック後の後利用は、日本水泳の中心となる世界最高水準の水泳場で、選手たちの競い合いを通じて、世界を目指すアスリートを育成。また、オリンピック・パラリンピックや国際大会を機に、次世代のアスリート候補を育成。

○カヌー・スラローム会場

国内初の人工スラロームコース。オリンピック後は、様々な水上スポーツ・レジャーを楽しめる施設。

また、安定した競技環境のものでアスリートを強化、育成や様々な水上スポーツや水上レジャーの機会を提供。

○海の森水上競技場

アジアの水上競技の中心となる国際水準の水上競技場。

○新豊洲Brilliaランニングスタジアム

「テクノジーとコミュニティの力で、誰もが分け隔てなく自分を表現することを楽しんでいる風景を作る。」これが運営のコンセプト。2020年以降に残す最も大事なレガシーは、障害のあるなしや、年齢、性別に関係なく、すべての人がスポーツやアートを楽しんでいる風景。そういった思いに共感した人が集まりスタジアムが完成。

全天候型60メートル陸上トラックには、国際競技会にも多数採用されている「スーパーX」が6レーン分採用されている。

また、60メートルトラックに隣接するオフィス棟には、競技用義足開発のためのデータ解析や耕作作業などを行うラボラトリーや開設。

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者		経理 責任者	
旅行期間	30年 11月 7日 30年 11月 7日	泊 1日	視察代表	
旅行先	愛知県公館（要望） (〒460-0001 愛知県名古屋市中区三の丸3丁目2-3)			
宿泊地				
視察・研修等目的	台風24号等における東三河の農業被害再建支援に関する愛知県知事等要望活動			
行程	渥美線 名鉄 地下鉄 徒歩 やぐま台駅 → 豊橋駅 → 金山駅 → 市役所駅 → 愛知県公館 徒歩 地下鉄 名鉄 渥美線 愛知県公館 → 市役所駅 → 金山駅 → 豊橋駅 → やぐま台駅			

経路	旅費						
	鉄道賃			3	0	6	0
やぐま台 ⇄ 豊橋（往復）	840円 (420円×2)						
豊橋 ⇄ 金山（往復）	1,740円						
	(なごや特割2平日切符)						
金山 ⇄ 市役所（往復）	480円 (240円×2)						
市役所 ⇄ 愛知県公館（徒歩）							
日当	1,000円						
合計				4	0	6	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。

経路及び旅費については、事務局にて記入。

実施報告書

30年11月 8日

田原市議会議長 殿

会派名 自民クラブ
議員名 大竹 正章

下記のとおり、要請・陳情したので報告します。

	会派 代表者	仲谷 政弘	経理 責任者	中神 靖典
行事名	台風24号等における東三河の農業被害再建支援に関する愛知県知事等要望活動			
日時	平成30年11月7日(水) 13時 ~ 13時15分			
場所	愛知県公館			
参加議員名	大竹 正章			
参加者数	自民クラブから1人			
内容 (目的)	別紙添付資料のとおり			
所見	知事は「出来る所から速やかに、あらゆる支援をしていく」と前向きな回答を頂いた。			

台風24号等における東三河の農業被害再建支援に関する
愛知県知事等要望活動

1 要望日時：平成30年11月7日（水）13時から13時15分

2 場 所：愛知県公館

3 日 程：

時刻	内容
12:45	集 合 <場所：愛知県公館> ○大村 秀章 愛知県知事 面会【15分】 同席：[REDACTED]、[REDACTED]、[REDACTED]、 [REDACTED]、[REDACTED]
13:00～ 13:15	①13:01～壁画面前で要望書手交 (豊橋市はじめ関係9市町村、自由民主党豊橋市議団 田原自民クラブ、JA愛知中央会) ②13:05～要望(4名) (豊橋市長 13:05～、豊橋市議 13:07～、田原市議 13:08～、 JA中央会長 13:09～) ③13:10～県議代表からの要望 ([REDACTED] [REDACTED]) ④13:12～知事からの回答
13:15	解 散

※自由民主党愛知県議員団 農政議員連盟については要望書配布にて対応

【同行県議会議員】

- ・ [REDACTED] ([REDACTED]・[REDACTED]・[REDACTED])

5 要望参加者名簿（合計23名）

行政・議員関係（14名）

自治体名	市長村		議会		随行者	
	役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名
豊橋市	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
豊川市	[REDACTED]	[REDACTED]			-	-
蒲郡市	[REDACTED]	[REDACTED]	-	-	-	-
新城市	[REDACTED]	[REDACTED]	-	-	-	-
	[REDACTED]	[REDACTED]	-	-	-	-
田原市	[REDACTED]	[REDACTED]	自民クラブ (副議長)	大竹 正章	-	-
	[REDACTED]	[REDACTED]			-	-
設楽町	[REDACTED]	[REDACTED]	-	-	-	-
東栄町	-	-	-	-	-	-
豊根村	[REDACTED]	[REDACTED]	-	-	-	-
幸田町	[REDACTED]	[REDACTED]	-	-	-	-
	[REDACTED]	[REDACTED]	-	-	-	-

JA関係（9名）

JA名称	役職	氏名
JAあいち三河	[REDACTED]	調整中
JA愛知東	[REDACTED]	調整中
JAひまわり	[REDACTED]	[REDACTED]
JA蒲郡市	[REDACTED]	[REDACTED]
JA愛知みなみ	[REDACTED]	[REDACTED]
JA豊橋	[REDACTED]	[REDACTED]
愛知県農業協同組合中央会	[REDACTED]	[REDACTED]
	[REDACTED]	[REDACTED]
	[REDACTED]	[REDACTED]

愛知県知事 大村 秀章 様
自由民主党愛知県議員団 農政議員連盟 様

要 望 書

台風12号、21号及び24号における
農業被害再建に関する要望

田原自民クラブ

東三河地方を中心とした地域は、平成 30 年 9 月 30 日に紀伊半島に上陸した台風 24 号の進路右側に当たり、最大風速 46m もの暴風が長時間にわたり広範に吹き荒れたことから、農業関係施設、農作物等が甚大な被害を受けました。7 月に本州を西進するという前例のない動きをした台風 12 号、さらには 9 月に関西地方を中心に大きな被害をもたらした台風 21 号を含む度重なる台風により農業者は大変な困難に直面しています。

これら一連の台風被害の主な内容は、風による露地野菜や果樹の損傷及び塩害、農業用ハウス・畜舎の損壊・破損及びそれに伴う施設内の損傷といったものです。特に、台風 24 号では広範囲で停電となり、近代農業を支える様々な機械設備が、長いところでは一週間も停止を余儀なくされました。このため、施設園芸では養液供給や環境制御システムの停止による作物の生育不良、酪農では生乳の廃棄に加えて、搾乳ができず乳牛が乳房炎を発症、露地栽培では散水機が停止し作付したばかりのキャベツで塩害が拡大といったように被害の影響は、長期に及ぶことが懸念されています。

このような厳しい状況のなか、全国有数の農業地域である当地域の農業を再生し、維持・継続していくためには多くの労力と多額の費用を要しますが、それは農業者にとって大きな負担となります。

県におかれましては、台風 24 号被害における農業者支援を国に要望していただき、支援が決定しましたことに心より感謝申しあげます。改めて農業者の状況を斟酌いただき、台風 12 号、21 号及び 24 号の被害に対して当地域の早期再建に万全の対策をとられるよう下記事項について、特段のご配慮をお願いいたします。

記

台風による農業被害からの再建に対する国の支援策について、県においても農家の費用負担の軽減が図られるよう助成等の財政措置を行うこと

平成 30 年 11 月 7 日

田原自民クラブ